



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和8年1月29日(木)実施 地域学校協働活動(南相馬市立石神第一小学校)

石一小地域学校協働本部学校支援

学校支援に発展

11月には、放課後子ども教室の様子を参観させていただいた石一小地域学校協働本部でしたが、今回は学校支援の活動も行うということで、その様子を見学してきました。

本来ならば、石一小地域学校協働本部では、放課後子ども教室のみを開催しているのですが、学校の先生からのオーダーで、いつもは放課後子ども教室の世話をしている方々が、学校支援活動にも参加するという形で実現しました。支援するのは、1年生の生活科で行う「むかし遊び」です。



教えるのではなく、一緒に遊びに来ました

今回は、南相馬市立石神第一小学校1年生12名に対して、5名の地域の方がむかし遊びを教えに来てくださいました。遊びの種類は「おはじき」「お手玉」「けん玉」「コマ回し」の4種類です。

生活室で顔合わせを終えると、さっそく2班に分かれて遊びの開始です。コマ回しでは、最初から得意な子もいて、楽し気にコマを回していました。一方、今回は初めてという子は、紐の巻き方から悪戦苦闘です。ここで講師の皆さんの素晴らしいところは、すぐに教えないということです。周りの子の様子を観察させたり、やり方を見せたりさせながら、なるべく自分の力でコマ回しができるように見守っていました。

子ども達が、見様見真似で紐を巻いたり、コマを投げたりしているうちに、一歩ずつできるようになっていく姿は、大きな成長を感じることができます。それでもコマが回らない子はいます。そこでいよいよ講師の皆さんは、一緒に紐を巻いたり、投げ方をレクチャーしたりしていました。

けん玉コーナーでも、子ども達の間には「できる・出来ない」の差がありました。しかし、コマ回しと同じようにすぐに教えるのではなく、見守るという姿勢が子どもたちの自主性を育てていました。何度も何度も練習をする中で、けん玉の大皿に玉が吸い付くように乗った瞬間の子どもの表情を見て、講師の方は自分のことのように喜んでいました。後から尋ねると、子どもの頑張りや笑顔から、元気や喜びをもらえたと言っていました。

お手玉のコーナーでは、多くの子が3つの玉を使った技は出来ませんでした。そこで、お手玉を箱に投げ入れるという遊びを始めました。その中でも自分たちでルールを考えながら新しい遊びを生み出していました。本来のお手玉だけを想定していたのであれば、間違った使い方なのかもしれませんが、「新しい遊び方を考えてすごいね」という目で見れば、子どもたちは安全性や道具を大切に使うことなどを考えながら活動ができるものです。

子どもの感想、大人の感想

◇まとめ・ふりかえりの時間での、子どもたちからの感想です。

「コマ回しを教えてもらってうれしかったです。」

「なかなか〈けん玉が〉できなかったけど、2回入って嬉しかったです。」

「みんなにおしえてもらってよかったです。」

◇終了後のスタッフミーティングでの大人の感想です。

「子ども達と楽しい時間を過ごすことができた。」

「新しいゲームを教えてもらい、多くの学びがあった。」

「本気で遊べるのが分かった。次年度の活動につながった。」

【今回使用した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】

